

- ☑ 2014/5/27(火)
- ☑ 6:00~20:00
- ☑ せんげん台駅東口
- ☑ 「チーム白川」マラソン演説会
実行委員会 主催

第10回 白川ひでつぐ

14時間マラソン演説会



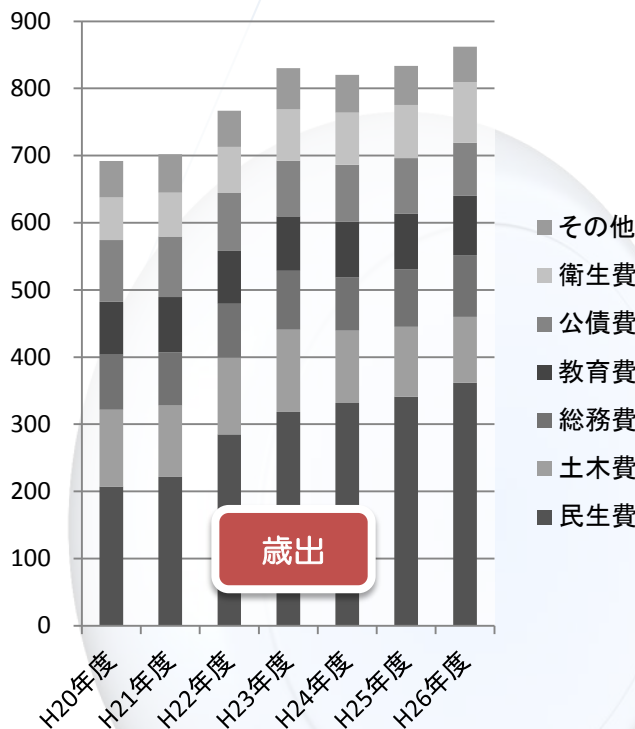
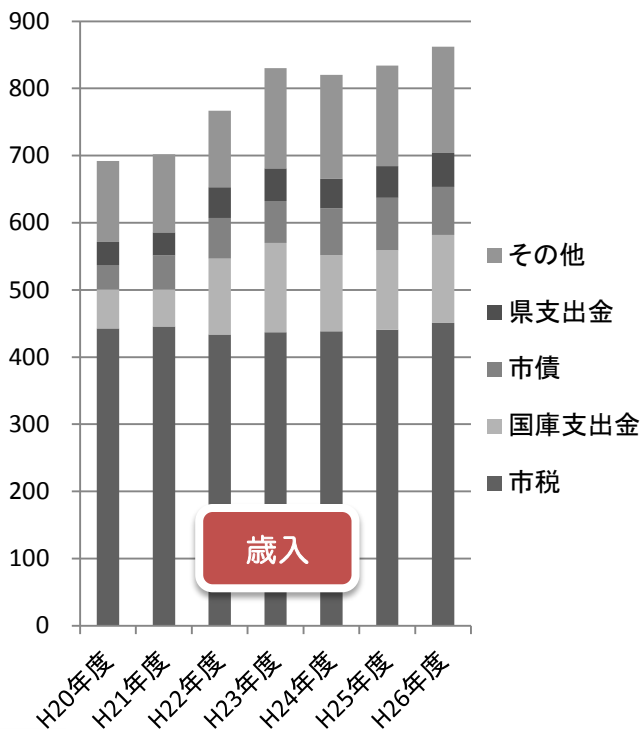
□ 今回のテーマ

「越谷がどうなっており、どうないうるか」を発信し
将来に投資する社会をもう一步前に!

お帰りなさい!!!

越谷市は人口減少で税収が伸びず、高齢化の急速な進行で民生費が増える厳しい財政運営を余儀なくされており、敬老祝金の削減に手をつけざるを得ない状況になっています。450億円の市税で860億円の歳出を賄う予算計画を作らざるを得ない状況が続いていることは行政だけの責任ではなく、市民が共に負うべき責任ではないでしょうか。

その責任を果たすために、私たちが選んだ議員がどのような判断をしているのか検証する必要があります。前回の市議選で議員が掲げた選挙公約が実行されているか、点検検証をする必要があります。本日のマラソン演説会は、街頭で市民と議員が討議する場を作り、まちづくりについて討議したいと思います。そして来年の統一地方選では、市民と共にまちづくりを推進する議員を議会に送って行こうではありませんか。



チーム白川

チームリーダー 伊藤 幹夫

事務所：越谷市大里 226-1

TEL/FAX : 048-970-8005



《第10回14時間マラソン演説会》へのメッセージを頂きました。

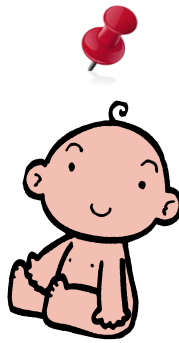
私達の未来、子供達、孫達の未来。今を生きる私達が歩む道は一つではありません。その未来につながる道は、行政や他の誰かに任せるのではなく、私達自身で切り開き、選んでいくものです。越谷市、埼玉県、日本を自信と誇りを持って語ることでできる地域、国にしていく。私達の子供達、孫達に引き継いでいける道を積極的に選んでいく。今回のマラソン演説会、私達一人一人がその自覚を持つきっかけの一つとなることを期待しています。

☆県議会議員 藤沢慎也



以前は、選挙でさえも、日程を忘れていたりしていましたが、子供が生まれ親になり、あの東日本大震災から身近に行政を感じるようになりました。特に、未来を生きていく子供たちに、負の財産は残したくはありません。他人任せではなく、大人が責任を持って選択をしていく。その為には、私自身も、もっとたくさんの事を見て聞いて勉強して知って、その上で判断していかないといけないと、親の義務を痛感しております。今日は、仕事の都合でこのような参加ですが、お声をかけて頂いた事に感謝しております。益々のご活躍とご発展を。

西方在住 T



今年も14時間マラソン演説会の開催、おめでとうございます。僕も第1回にスピーカーとして参加させていただきました。一市民として、当時は3・11直後の主に学校を中心とした防災活動の中に居りました。大事が起きた際、従来の様々な公的、準公的な枠組みでは対応が立ち行かないケースを間近にして以来、時代に即したネットワークが軽く、かつ前例に捕らわれない枠組みが必要と切に感じていました。同時に越谷市内でそれぞれの想いを実現させようと熱く活動している同世代の活躍にも巡り会えました。「任せて文句を言う」ではなく「当事者として物事を率先して考え行動する」この意識の芽生え…まだ数は少ないと思います。白川さんやチーム白川の皆さんのご活動がその芽を育む契機になって欲しい…そう思うと前を向いて歩め、そして進めます。

大里在住 K



近年越谷市が「中核市」に名乗りを上げるそうですね。慶賀にたへずと言いたいところですが、この「中核市」というのが今ひとつ判らない。保健所が持てて県の下請け仕事を2千いくつだか裁量に任せられるとか。さてそれがどれほど我市の為になることなのか、次に天下る無為の業務を整理執行するビジョンと度量があるのか、疑問山積みです。付いてくるという予算だって税金です。市政を肥大させるだけの中核市は「おめでたい」だけでは？

千間台在住 佐治



77歳の敬老祝い金廃止の話聞いた。何故こんな大事なことを自治会や老人会に事前に相談したり説明したりせずに決めたのか。もらえる対象の人だけでなく、対象で無い若い人も交えて討議をしていくべきではないのか。そうすれば賛成、反対、段階的等の多様な意見も出るだろうし、又削除したお金を何に使うのかの討議になったのではないか。

弥十郎在住グラウンド・ゴルフリーダー 渡辺止雄

忘れてはいけないのは東日本大震災、そして「フクシマ」と言い聞かせています。どうしても忘れっぽい私達ですが、あの原子力発電災害がなかったかの様に進められる現在の原子力政策や「特定秘密保護法」の国会通過も忘れられるはずがありません。

足元ではどうかと思います。確かに税金は払っているが、使い方まで関心を払ってきた事はありません。議会内の議員の方の活動も又しかり。少し見ようとして見えてくる部分も出てきました。来年は市議会選挙もあるようです。日々の生活の中に「公共」も確かに入ってきていますので。

千間台在住 渡辺修二

